

10/20

県童話発表会



第51回県童話発表大会が、熊本市のアスパル富合で行われ、県内の代表23人が出場し、滝尾小学校6年の野口莉那さんが上益城郡の代表として出場。7分間の発表時間の中で「サンピラー お母さんとの約束」を発表しました。野口さんは「小学生最後の年に県大会に出場できてうれしかったです。とても緊張したけど練習どおり発表ができたのでほっとしました。」と話していました。

10/19

稲刈り体験



小坂小学校(三浦克洋校長、152人)の5年生33人が、地域住民6人と稲刈りを体験しました。米作りは総合的な学習の授業の一環で毎年、本田進さん(豊秋)の田んぼで取り組まれています。6月に植えた稲が育ち、児童たちは横一列に並び、かまを使って稲を刈り取りました。刈り取られた稲は児童たちが集めて、コンバインで脱穀作業を行いました。

10/9

伝統の舞



よつのみや
四宮神社(北木倉)で、秋季例大祭が行われました。例大祭では同神社神楽保存会(松崎邦寿会長)により、肥後神楽のうち「祓い神楽」「式神楽」「地鎮」と、乙女舞の「豊栄舞」「浦安舞」など、五穀豊穡や家内安全、健康祈願の舞踊が奉納されました。小学生から一般までの会員20人が交代で奉納し、笛や太鼓の音に合わせた神楽の舞に見物客は終始見入っていました。

10/9

とおもん 通し物



200年以上の伝統のある若宮神社(辺田見)大祭「通し物」。化粧まわしの少女2人が打ち鳴らす太鼓と三味線の音に合わせて古謡「田の茂のうた」を歌いながら約120人が町中心部を練り歩きました。「通し物」は、1732(享保17)年の御船川大洪水で、同神社の御神体が約9㍎離れた嘉島町の犬淵まで流され、氏子たちが行列をつくり迎えに行ったことが起こりと伝えられています。

11/6

いっぱいお芋が掘れたよ



上野保育園(宗心みどり園長、47人)の園児29人が、川口勝行さん(上野)の畑で芋掘りを体験しました。農業体験や子どもの思い出づくりを目的に今年で10回目となります。

5月に植えたカラ芋を、地元の住民6人と民生児童委員7人に手伝ってもらい、泥まみれになりながらたくさんのカラ芋を掘りおこしました。掘ったカラ芋は、芋天のおやつとしてその場で振る舞われました。

10/28

みりよく 美緑のむら里



第10回美緑のむら里祭りが、田代西部福祉センターで行われ、地域住民など約300人が参加しました。祭りでは、肥後ちゃんかけごまの演技や参加者による体験、演芸大会が行われました。演芸大会では、地元の北星連による恐竜太鼓「天君神龍」や元気クラブによる健康体操「うきうき体操」、ダンスや日舞など地元の人たちなどによる28の多彩なステージを楽しみました。

10/16
10/24

3回目の展覧会



町内の美術家や陶芸家など29人の作品を展示した、町美術・工芸協会展覧会がカルチャーセンターアートホールで開かれました。

絵画や工芸などの作品が展示され、来場者には出展者たちの作品が当たる抽選会などが行われ、期間中は約500人の人が訪れました。代表世話人の竹田津純さん(辺田見)は「今年で3回目の開催になり、出品者も増えてきている。町には多くの美術や工芸をしている人がいるので、眠っている作品と一緒に展示していただけたらと思う」と芸術に関心のある会員を募集しています。詳しい内容は竹田津代表まで直接電話でお尋ねください(☎282-2524)